9月定例会

県議会を振り返る

9月定例会は、9月8日から会期26日間で開かれ、諸議案の審議を終えて10月3日に閉会しました。

この議会に知事から提出された議案は、予算案3件、事件案件4件、条例案11件、諮問案件1件、人事案件2件の計21件でした。

また、議会提出の発議案は、「私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書案」など3件でした。

9月11日には代表質問が行われ、河本勉議員（自由民主党）、木口京子議員（民主・県民クラブ）、高橋英士議員（公明党）の3名の議員が県行財政上の諸課題について各会派を代表して質問を行ったほか、9月17日から19日及び25日から26日までの計5日間にわたり26名の議員が一般質問を行いました。

代表質問から

子ども・子育て支援について

河本 勉 議員（自由民主党）

Q 子ども・子育て支援新制度では、市町村において、地域のニーズを的確に反映させた計画を今年度中に策定することとなっているが、今後、県はどのような支援を行うのか。

また、国は「放課後子ども総合プラン」を策定し、平成31年度末までに約30万人分の放課後児童クラブの受け皿を拡大することとしているが、県はどのような姿勢で取り組むのか、知事の所見を伺いたい。

A 県では、これまで、子ども子育て支援事業計画の策定などの説明会を開催し、情報提供や助言を行ってきたが、今後、地域の実情に即した施策が適切に進められるよう、施設整備や運営のための財政支援、広域的な調整や人材育成など、市町村の支援に積極的に取り組むべく、現在、市町村は、教育委員会と連携し、学校施設の補修的な活用など、放課後児童クラブの拡充に向けた検討を行うとともに、地域の「ニーズを踏まえた計画の策定を進めており、県としても、市町村計画に基づいた施設整備や運営を支援することとしている。今後とも、国の動向を注視しながら、放課後児童クラブをはじめとした子育て支援の充実に努め、仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めてまいりたい。（知事答弁）

危険ドラッグ対策について

木口 京子 議員（民主・県民クラブ）

Q 東京都では、独自の条例を作り、委員会を経て約2週間で薬物を規制できるとのことだ。愛知県などでも条例を制定し、規制を実施中と聞く。独自規制の必要性についての認識と、規制を盛り込んだ条例制定について、スケジュールも含め、知事の所見を伺いたい。

また、警視庁では、運転する人が危険ドラッグを車内に所持していれば、最長6カ月の運転免許停止とする方針を決めたようだ。本県における検討状況について警察本部長の見解を伺いたい。

A 条例の制定により、一部の薬物について、薬事法に基づく指定薬物より迅速な規制が可能となるなど、一定の効果があると認識している。このため、国の動向を注視しつつ、他県の条例も参考にしながら、条例の制定に向けて検討を進めたいなお、条例の制定に当たっては、関係者との調整が必要となるため、現時点でスケジュールを示すのは困難だが、速やかに対応する。（知事答弁）

全国的に危険ドラッグによる交通事故が相次いでいる状況に鑑み、ドラッグの実態や運転状況等、個々の状況について判断し、道路交通法の要件に該当する場合には、運転免許に係る行政処分を適正に行い、こうした運転者を排除し、危険ドラッグに伴う道路交通上の危険を未然に防ぐよう努めたい。（警察本部長答弁）

土砂災害対策及び防犯カメラについて

高橋 英士 議員（公明党）

Q 広島市の土砂災害で被害が出た地区のほとんどが、基礎調査が行われたものの土砂災害警戒区域に指定されていなかった。広島県は急遽、警戒区域等の指定前に基礎調査の結果を公表したが、これは国土交通大臣が都道府県に危険箇所の基礎調査の公表を義務付ける方針を明らかにしたためだ。本県での危険箇所の基礎調査の公表並びに土砂災害警戒区域等の指定等の状況はいかがか。

倉敷市の児童連れ去り事件を受け、防犯カメラを設置する気運が高まっているが、県策定の設置・運用に関するガイドラインは設置者の良識に委ねられるもので、プライバシーを守り、適正な運用・管理のため、ある程度の強制性を持つ条例の制定が必要だ。知事の所見を伺いたい。

A 現在、県では、土砂災害警戒区域の指定を先行して進めており、基礎調査後速やかに指定しているため、指定前での公表は行っていない。また、警戒区域等の指定状況は、約1万2千箇所の土砂災害危険箇所について、27年度末までに警戒区域の指定を行うこととしており、25年度末までに、約9千3百箇所を警戒区域に指定している。

現時点では条例での法的な規制や義務付けではなく、ガイドラインによりプライバシーの保護を含む望ましい運用の在り方を周知していくことが適当と考えている。（知事答弁）

一般質問を行った議員

9月17日	遠藤康洋（自民） 氏平三穂子（共産） 神宝謙一（自民） 小林孝一郎（自民） 浅野 實（自民）
9月18日	市村 仁（自民） 横田えつこ（県緑） 小林健伸（自民） 若井たつこ（無所属）
9月19日	三宅和広（民県） 小林義明（自民） 太田正孝（自民） 笹井茂智（公明） 西岡聖貴（民県） 三原誠介（民県）
9月25日	小倉弘行（自民） 波多洋治（自民） 山田総一郎（公明） 佐藤真治（自民） 渡辺吉幸（自民）
9月26日	渡辺英気（自民） 加藤浩久（自民） 池本敏朗（自民） 青野高陽（自民） 井元乾一郎（自民）

9月定例会 議決結果

紙面の都合上、二人以内で要旨を掲載しています。

予算案	3件可決（3件中）	諮問案件	1件答申（1件中）
事件案件	4件可決（4件中）	人事案件	2件同意（2件中）
条例案	11件可決（11件中）	発議案	2件可決（3件中）

11月定例会

県議会を振り返る

11月定例会は、11月28日から会期22日間で開かれ、諸議案の審議を終えて12月19日に閉会しました。

この議会に知事から提出された議案は、予算案9件、事件案件8件、条例案7件、報告案件2件、人事案件1件の計27件でした。

また、議会提出の発議案は、「岡山県議会の政務活動費の交付に関する条例の部を改正する条例案」など4件でした。

12月2日には代表質問が行われ、岸本清美議員（自由民主党）、三宅和広議員（民主・県民クラブ）、景山貢明議員（公明党）の3名の議員が県行財政上の諸課題について各会派を代表して質問を行ったほか、12月5日、9日から12日までの計5日間にわたり23名の議員が一般質問を行いました。

代表質問から

農林水産業発展の方向性及び農地中間管理事業について

岸本 清美 議員（自由民主党）

Q 知事は先般、海外を訪問し、先進的大規模農業普及指導センター組織の見直しの最終案が示されたが、その目的を含め、農林水産業発展の方向性と振興策について伺いたい。

農地中間管理機構が、農地の受け手募集やマッチング作業を進め、年内には最初の農地貸し付けが行われるとのことだが、現状で2割弱の農地集積率を今後10年で4割強とする目標実現には、なお一層の取組が必要だ。今後の見通しと県の対応について、知事の所見を伺いたい。

A オランダの効率的な農業経営など世界最先端の取組を調査し、農林水産業の持つ可能性を強く感じた。本県農林水産業についても、その強みや特色を生かし、競争力のある産業へ育てたい。農業普及指導センターでは、消費者ニーズに即した生産振興・担い手確保や大規模経営体の育成・飼料の自給率向上、岡山ブランドの確立などを進めてまいりたい。

農地中間管理機構では、農家と直接対話する職員を増員するとともに、地域の実情に応じた活動ができる体制の構築に取り組んでおり、その取組を支援することで、農地の集積・集約化を促進し、農業の生産性の向上につなげたい。（知事答弁）

認知症高齢者の徘徊・見守りSOSネットワーク及び身元不明者の情報公開について

三宅 和広 議員（民主・県民クラブ）

Q 知事は芸能・スポーツ等の分野で活躍する人物を「県政応援隊」に任命し、県政の情報発信や県内外の人々との交流・連携を図っている。

芸能活動などを視察したが、感想はどうか。また、農業普及指導センター組織の見直しの最終案が示されたが、その目的を含め、農林水産業発展の方向性と振興策について伺いたい。

農地中間管理機構が、農地の受け手募集やマッチング作業を進め、年内には最初の農地貸し付けが行われるとのことだが、現状で2割弱の農地集積率を今後10年で4割強とする目標実現には、なお一層の取組が必要だ。今後の見通しと県の対応について、知事の所見を伺いたい。

A 認知症高齢者が行方不明となった際のネットワークは現在、9市町村全域と1市の部地域で構築されている。また、徘徊は複数の市町村にまたがることもあるため、広域的な県内ネットワークの構築が必要と考え、市町村間の情報伝達を迅速に行うための連絡網を構築した。今後とも市町村と連携し、早期発見につながる仕組みづくりに取り組むべきだ。

現在、HPに公開に向け、関係機関と調整中だ。顔写真や身体的特徴などについては本人の利益になると判断した時には個人情報保護条例に基づき公開し、身元の判明につながるよう努めたい。（知事答弁）

道路面下の空洞調査及び障害者就労施設等からの調達について

景山 貢明 議員（公明党）

Q 国の資料によると、全国で年間およそ5千件の陥没事故が発生しているが、こうした陥没事故を未然に防ぐべく各地で空洞調査が実施されている。本県においても、路面下空洞調査を実施し、陥没を防ぎ、道路の安全を確保すべきと考えるが、どう取り組む予定か、スケジュール、路線選定、受託業者選定に当たっての所見を伺いたい。

障害者就労施設等からの調達における具体的方策については、随意契約方式の活用等を掲げているが、現在どのように実施しているのか。

A 道路面下の空洞は、日々の道路パトロールによる目視点検では確認できないため、来年度から電磁波を用いた空洞調査に着手することを検討している。まずは、地下埋設物が多い路線や、河川・海岸沿いの路線等の中から、交通量が多いなど重要な路線を対象に調査していきたい。業者選定に際しては、調査の品質確保や競争性に配慮しながら進めたい。

障害者就労施設からの調達では、優先調達センター機能を保健福祉部に設け、庁内会議等で随意契約方式や県ヘルプセンターの活用、障害者就労施設等の特性に配慮した納期設定などを周知し、庁内の調達推進に努めている。（知事答弁）

一般質問を行った議員

12月5日	中塚周一（自民） 森脇久紀（共産） 神宝謙一（自民） 西岡聖貴（自民）
12月9日	江本公一（自民） 上田勝義（自民） 柳田 哲（民県） 小林孝一郎（自民）
12月10日	増川英一（公明） 小林義明（自民） 太田正孝（自民） 住吉良久（自民） 笹井茂智（公明）
12月11日	池本敏朗（自民） 波多洋治（自民） 木口京子（民県） 小林健伸（自民）
12月12日	佐藤真治（自民） 青野高陽（自民） 渡辺吉幸（自民） 蜂谷弘美（自民）

11月定例会 議決結果

紙面の都合上、二人以内で要旨を掲載しています。

予算案	9件可決（9件中）	報告案件	2件承認（2件中）
事件案件	8件可決（8件中）	人事案件	1件同意（1件中）
条例案	7件可決（7件中）	発議案	4件可決（4件中）

県議会トピックス

第149回全国都道府県議会議長会定例総会、開催

10月28日、第149回全国都道府県議会議長会定例総会が愛媛県で開催されました。

総会では、永年勤続議員に対する自治功労者表彰の後、防災・減災対策の強化や、地方創生の推進など5件の決議と、「平成27年度政府予算編成に関する提言」について審議、決定されました。

岡山・香川両県議会正副議長意見交換会、開催

10月29日、この会議では、高松丸亀町商店街振興組合の古川康造理事長をゲストにお迎えし、民間主導による再開発事業の概要などのお話をお聞きし、意見交換を行いました。今後も両県が一層の情報交換を行い、中心市街地の活性化に向けて連携を図っていくことで意見が一致しました。

岡山県議会地域公共政策セミナーを開催

9月30日、岡山大学環境理工学部助教、氏原岳人先生をお迎えし、「これからの都市・交通政策」をテーマに御講演をいただきました。

先生からは、膨張した都市をスリム化するコンパクトシティ政策や効率的な土地利用、交通政策など、米国ポートランド市の先進事例を交えながら、長期的な人口減少社会を見据えた都市ビジョンの必要性についてお話があり、その後、岡山市中心市街地の回遊性向上や、望ましい都市計画の在り方などについて、意見交換を行いました。

スポーツ振興議員連盟が、要望活動を実施

11月28日、本県のスポーツ振興施策について、知事への要望活動を実施しました。来年度予算編成を控え、平成28年度に本県を主会場として中国5県で開催される高校総体（インターハイ）に向けた選手強化策や、平成32年に東京で開催されるオリンピックに向けた事業の実施などについて要望しました。

その他の議員連盟の活動

7月 1日	岡山県森林・林業活性化促進議員連盟総会開催 岡山県スポーツ振興議員連盟総会開催
8月22日	鳥取・岡山県境議員連盟総会開催
9月 5日	JR伯備線新幹線化・フリーゲージトレイン導入促進三県議会議員協議会総会
9月25日	児島湖をきれいにする議員懇談会臨時総会開催
10月15日	岡山シーガルズ県議会サポーターズ総会開催

ミャンマーと韓国の皆さんが議場を見学

11月、国が実施している青少年交流事業「JENESYS2.0」で日本を訪問したミャンマーの大学生と韓国の高校生が議会見学に訪れました。皆さんには、実際に議員席に着席し、議会の雰囲気を体感しながら、議会の役割や仕事などについての説明を受けていただきました。

11月 6日　ミャンマーの大学生 24人
11月11日　韓国の高校生　45人

県政に参加しませんか？

県の予算や条例などがどのように決められているか、本会議・委員会を傍聴・視聴できます。また、インターネットでも議会中継を見ることができます。

本会議を傍聴しよう！

どなたでも議会の本会議を傍聴できます。本会議当日、議会棟1階で受付をし、傍聴券を受け取ってから入場してください。

- **開会時間／午前10時から**（時間は事前にご確認ください。）
- **定員／95人（先着順）**

※傍聴席で飲食や喫煙、その他議事の妨害となるような行為はできません。

委員会をモニター視聴しよう！

どなたでも委員会をモニターテレビにより視聴できます。委員会当日、議会棟1階で受付をし、視聴券を受け取ってから、2階の視聴室にお越しください。

- **開会時間／午前10時から**（時間は事前にご確認ください。）
- **定員／36人（先着順）**

※通常、委員会は午前10時から開かれますが、午後に開催される場合もあります。日程をご確認ください。なお、視聴をするときは注意事項を守り静かに視聴してください。

インターネットで議会中継を見よう！

本会議の様子をインターネットで中継しています。みなさん、ぜひご覧ください。

岡山県議会 インターネット中継　検索

※ご覧いただくには、Windows Media Player 8.0以上（Windowsの場合）、Windows Media Components for QuickTime（MacOSの場合）が必要です。

お問い合わせ／県議会事務局総務課　tel.086−226−7548

議員定数と選挙区が変わります！

平成27年3月1日以後の一般選挙から次のとおり変更されます。

- 定数：56（変更前）→55（変更後）
- 選挙区及び選挙区ごとの定数

津山市・苫田郡4人（変更前）
勝田郡　1人（変更前）

↓

津山市・苫田郡・勝田郡4人（変更後）